

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	市政情報の各広報媒体の視聴状況、「広報うつのみや」の入手方法、「広報うつのみや」を入手していない理由、「広報うつのみや」で読んでいる主な記事、「広報うつのみや」に関する感想、取り上げてほしい話題・情報、市のホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページを利用して知りたい情報は探しやすいか、ホームページに関する感想、充実してほしい機能や情報、市政情報をどんな手段で知りたいか
成年後見制度	成年後見制度の認知度
生物多様性	「生物多様性」の認知度、外来種が及ぼす影響の認知度
宇都宮産の農産物	宇都宮産の農産物の購入意欲、宇都宮の農業を大切にしたいと思うか、環境に配慮して生産された農産物の購入意欲
カーボンニュートラル(脱炭素)	カーボンニュートラルの認知度、カーボンニュートラルの実現に向けた取組は必要だと思うか、カーボンニュートラルにつながる行動について、ライトラインが再生可能エネルギー100%で走行していることの認知度
水災害(洪水など)への備え	ハザードマップの存在の認知度、住んでいる建物(住宅)は、洪水浸水想定区域内、または洪水浸水想定区域外か、水災害への備えに取り組んでいるか
雨水貯留・浸透施設の補助金制度	「貯留タンク(雨どいから雨水を貯めるタンク)」や「浸透ます(雨水を地下にしみ込ませるもの)」の認知度、貯留タンクや浸透ますなどの設置に対する補助金制度の認知度、貯留タンクや浸透ますなどの設置効果についての認知度、貯留タンクや浸透ますなどを設置したいと思うか、設置希望・既設置の理由、設置したくない理由
宮っこを守り・育てる都市宣言	「宮っこを守り・育てる都市宣言」の認知度
まちづくり活動への参加意識	参加中または興味があるまちづくり活動、まちづくり活動に参加していない理由
公共交通の運賃負担軽減策等	普段の公共交通(ライトライン・バス・地域内交通)の利用頻度、交通系ICカード「totra」の認知度、交通系ICカードを利用した「バスの上限運賃制度」の認知度、「totra」を利用した「乗継割引制度」の認知度
スポーツに関すること	大規模スポーツイベント開催の認知度、大規模スポーツイベントの会場観戦があるか、スポーツイベントを観戦するための要素、スポーツに関する指導を行ってみたいか、アーバンスポーツに関心があるか
自転車のまちづくり	自転車を使いやすいまちだと思うか、魅力ある「自転車のまち」を推奨していく上で必要な取組
中心市街地の活性化	中心市街地に住みたいと思うか、中心市街地に出かける頻度、中心市街地へ出かける目的、街なかがどう変化すれば中心市街地へ出かけたくなるか

焼却ごみ削減の取組	焼却ごみ削減のため実施した取組，焼却ごみ削減や資源物の分別の周知方法として有効な取組
自治会	自治会に加入しているか，加入したきっかけ，加入したことがない理由，退会した理由，住みよい暮らしのための今後の自治会活動，特にどのような活動に力をいれていくべきか，住まいについて
良好な生活環境の確保に係る市民満足度	環境負荷の低減が図られた良好な生活環境の確保に向けた施策の満足度
保健と福祉のまると相談窓口エール U	保健と福祉のまると相談窓口エール U の認知度，エール U の設置場所の認知度，エール U がどのような相談窓口かの認知度
健康づくり	主食・主菜・副菜をそろえて食べることの頻度，がん検診を受診する間隔，直近のがん検診の受診先，歯と口の健康に関する治療や相談ができるか，かかりつけの歯科医院はあるか
結婚・出産・子育てに関する意識	結婚しているか，結婚するつもりがあるか，結婚している場合，全部で何人のお子さんを持ちたいか，結婚を予定している場合，子どもは何人ほしいか
SDGs (エス・ディー・ジーズ)	SDGs についての認知度，SDGs につながる行動の中で日頃から取り組んでいるもの，SDGs のゴールの中で積極的に取り組みたい分野
生涯学習	現在，生涯学習として学習，文化・スポーツ（運動）活動をしているか
火葬により生じる残骨灰の取り扱い	残骨灰の中に金・銀・パラジウムなどの有価物が含まれる場合があることについての認知度，残骨灰に含まれる有価物を売却し，その収入を火葬場などの財源に充てている自治体があることについての認知度，残骨灰に含まれる有価物を市が売却し，その収入を火葬場などの財源に充てることについてどう思うか
地域共生社会	地域共生社会の認知度，どのようにして地域共生社会を知ったか
「大谷石文化」の日本遺産認定	「大谷石文化」が日本遺産に認定されていることの認知度，「大谷石文化」を誇りに感じるか
選挙の投票率向上に向けた取組	最近の選挙について投票に行っているか，最近の選挙についてどのような方法で選挙の有無を認知しているか，昨年 4 月に執行した宇都宮市議会議員選挙の低投票率の理由，投票環境の充実を図るために必要な取組
「もったいない運動」	「もったいない運動」の認知度，「もったいない運動」を知った経緯，日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」
男女共同参画	家事・育児・介護それぞれに費やした時間，社会的な活動の実施状況，配偶者からの暴力を受けた経験，LGBTQ（エルジービーティーキュー）の認知度
防犯・交通安全に関する意識・状況	安心して暮らすことができているか，自転車乗車用のヘルメットの所持および着用状況，自転車保険の加入状況
デジタル化	デジタル機器の所有状況，インターネットを利用しているか，インターネットを利用しない理由

3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満 18 歳以上の日本国籍を有する市民 5,400 人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 令和 6 年 8 月 19 日～9 月 6 日

4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
5,400	2,767	51.2%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
10 歳代	男性	42	1	2.4%	11	26.2%	12	28.6%
	女性	31	1	3.2%	9	29.0%	10	32.3%
	その他	0	0	—	0	—	0	—
	計	73	2	2.7%	20	27.4%	22	30.1%
20 歳代	男性	291	13	4.5%	63	21.6%	76	26.1%
	女性	240	19	7.9%	51	21.3%	70	29.2%
	その他	0	0	—	3	—	3	—
	計	531	32	6.0%	117	22.0%	149	28.1%
30 歳代	男性	376	30	8.0%	101	26.9%	131	34.8%
	女性	302	40	13.2%	115	38.1%	155	51.3%
	その他	0	0	—	1	—	1	—
	計	678	70	10.3%	217	32.0%	287	42.3%
40 歳代	男性	504	46	9.1%	141	28.0%	187	37.1%
	女性	444	75	16.9%	142	32.0%	217	48.9%
	その他	0	2	—	9	—	11	—
	計	948	123	13.0%	292	30.8%	415	43.8%
50 歳代	男性	483	83	17.2%	117	24.2%	200	41.4%
	女性	404	136	33.7%	116	28.7%	252	62.4%
	その他	0	0	—	1	—	1	—
	計	887	219	24.7%	234	26.4%	453	51.1%
60 歳代	男性	368	141	38.3%	74	20.1%	215	58.4%
	女性	363	186	51.2%	66	18.2%	252	69.4%
	その他	0	1	—	1	—	2	—
	計	731	328	44.9%	141	19.3%	469	64.2%
70 歳代	男性	387	224	57.9%	35	9.0%	259	66.9%
	女性	460	309	67.2%	20	4.3%	329	71.5%
	その他	0	0	—	0	—	0	—
	不明	—	—	—	—	—	—	—
	計	847	533	62.9%	55	6.5%	588	69.4%
80 歳以上	男性	227	110	48.5%	6	2.6%	116	51.1%
	女性	478	208	43.5%	14	2.9%	222	46.4%
	その他	0	0	—	0	—	0	—
	不明	—	2	—	0	—	2	—
	計	705	320	45.4%	20	2.8%	340	48.2%
年代不明	男性	—	1	—	0	—	1	—
	女性	—	2	—	0	—	2	—
	その他	—	0	—	0	—	0	—
	不明	—	41	—	0	—	41	—
	計	—	44	—	0	—	44	—
全体	男性	2,678	649	24.2%	548	20.5%	1,197	44.7%
	女性	2,722	976	35.9%	533	19.6%	1,509	55.4%
	その他	0	3	—	15	—	18	—
	不明	0	43	—	0	—	43	—
合計	5,400	1,671	30.9%	1,096	20.3%	2,767	51.2%	

5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として95%がとられるケースが多い。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度95%の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,767	±1.11%	±1.49%	±1.70%	±1.82%	±1.86%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,200	±1.70%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.83%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

<標本誤差の算出方法>

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の満18歳以上の人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

P : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

<表の見方>

この表の見方としては、例えば、回答者数が2,767で宇都宮市が「好き」との答えが47.7%であった場合、「その回答比率の範囲は最高でも47.7%±1.86%以内(45.84%~49.56%)である」とみることができる。

6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- n値が少ない属性は記述に含まれない場合がある。
- 世論調査のクロス集計結果については、年齢や家族構成等の属性によって、回答者数にばらつきがあることから、参考として記載する。